HONDA
The Power of Dreams

Honda Baby ISOFIX

取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に本体の保管ポケットに収納してください。

- ●当商品をISOFIXでお使いになる場合は、当準汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付けを認可された車両にのみ使用可能です。適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。また、取り付けできる座席につきましては、車両の取扱説明書、または販売店にご確認ください。
- ●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

1 マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

当商品は、お子さまの命を守る重要な役目をはたす商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能をはたさず、事故に遭われたときにお子さまが死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。
取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

●本書では、運転者や他の人が傷害をおったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険
・ 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告
・ 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意
・ 指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。しっかりお読みください。

アドバイス

- 当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
- 異常事態の処置方法を記載しています。
- 当商品を確実にお取り付けしていただくためのアドバイスを記載しています。

知 識

- 知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

注意

1. このチャイルドシートは、シートベルト固定では「汎用（Universal）」型のチャイルドシートとして、ISOFIX固定では「準汎用（Semi-universal）」型のチャイルドシートとして、車両で使用するものとしてECE*規制第44号の第4改訂版に基づいて認可されており、一部の車両を除いた座席に適合しています。
2. 車両の取扱説明書に、この年齢層向けの「汎用（Universal）」型および「準汎用（Semi-universal）」型のチャイルドシートを搭載できると明記されている車両には、ほとんどの場合、このチャイルドシートを取り付けることができます。
3. このチャイルドシートは、この注意書きが記載されていない従来型のチャイルドシートよりも、厳しい条件に基づき、「汎用（Universal）」型および「準汎用（Semi-universal）」型のチャイルドシートに分類されています。
4. なお、不明な点につきましては、チャイルドシートの発売元または販売店にお問い合わせください。

*ECE＝安全装置用欧州基準

目 次

1 マーク表示について …… 1

2 取り付けおよび取り扱い上の注意事項…… 4

警告 …… 4
注意 …… 8

3 こんな車両には取り付けできません…… 9

4 認可、適合性 …… 9

5 車両での使用方法 …… 10

a. 汎用型ISOFIX取付装置を使う場合 …… 11
b. 車両シートベルトを使う場合 …… 12

6 各部の名称 …… 13

a. ベビーシート …… 13
b. 同梱品 …… 15

7 お子さまの安全 …… 17

a. キャリングハンドルの調節 …… 17
b. ハーネス（肩ベルト）を緩める…… 19
c. ハーネス（肩ベルト）を締める…… 20
d. ヘッドサポートの調節 …… 21
e. お子さまの乗せ方…… 22

8 車両への取り付け／取り外し方法…… 25

a.ISOFIXベースを使用して取り付ける…… 25
b. 車両シートベルトで取り付ける …… 37

9 お手入れ方法 …… 47

a. サンシェードの取り外し …… 48
b. シートカバーの取り外し …… 49
c. シートカバーの取り付け …… 50
d. バックルのお手入れ …… 51

10 廃棄方法 …… 53

11 次のチャイルドシート …… 53

2 取り付けおよび取り扱い上の注意事項

⚠ 警告

- Honda Baby ISOFIXは、体重13kg位（身長85cm位）まで、目安として生後18ヶ月位までのお子さまに使用してください。この条件を満たさないお子さまには使用しないでください。

- Honda Baby ISOFIXを取り付ける前に、車両の取扱説明書の「チャイルドシートの使用」に関する諸注意を確認し、取扱説明書に従って常に正しい取り付けを行ってください。

- エアバッグを装備している助手席での使用はできません。事故の際、エアバッグが膨らんでけがをする恐れがあり危険です。必ず車両後部座席に取り付けてください。

- 車両シートベルトおよびHonda Baby ISOFIXのハーネスを鋭利なもので傷つけないようご注意ください。万一のとき大変危険です。

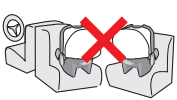
2 取り付けおよび取り扱い上の注意事項

⚠ 警告

- Honda Baby ISOFIXは、シートカバーなしで使用しないでください。また、このシートカバーは拘束性能にも影響を与える恐れがあるため、弊社が推奨するもの以外と取り替えないようにしてください。

- 衝突速度が10km/h程度の事故や、うっかり落としてしまったり、車両のドアを閉める際にHonda Baby ISOFIXにぶつけるなどでも破損する場合があります。外見上は破損・変形の跡が見えなくても交換してください。

- Honda Baby ISOFIXは、必ず車両３点式シートベルトを使用して取り付けてください。その際、車両の背もたれは必ず固定してください。折りたたみシートの場合でも固定してください。２点式シートベルトでは使用できません。また、横向きや前向きには絶対使用しないでください。



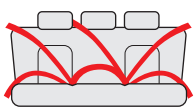
- Honda Baby ISOFIXの改造などは行わないでください。保護効果がなくなったり、減少する可能性があります。

⚠ 警告

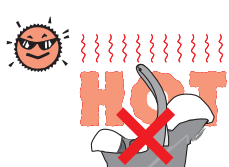
- 車両３点式シートベルトおよびHonda Baby ISOFIXのハーネスがよじれたり、たるんだりしていないこと、お子さまがしっかりと固定されていることを確認してください。

- 衝突の際に損傷の原因となる車内のおもちゃ、カーアクセサリーなどは、適切に固定するか、何も置かないでください。急ブレーキや事故の際、非常に危険です。

- Honda Baby ISOFIX同様、車両の後部座席に乗車する大人もシートベルトをしっかり締めるよう心がけてください。事故などの際に他の乗員を傷つける可能性があります。



- Honda Baby ISOFIXに日光が当たりますと熱くなることがあります。大人が熱さの程度を確認し、火傷の恐れのないことを確認の上、ご使用ください。



2 取り付けおよび取り扱い上の注意事項

⚠ 警告

- スライド式シートまたは車両のドア部と、Honda Baby ISOFIXが挟まれないようにしてください。

- Honda Baby ISOFIXにお子さまを乗せたまま、車両から離れたり、高さのあるところ（テーブル等）に置かないでください。不慮の事故につながる恐れがあります。

- 本書事項に従わない場合に発生した事故、その他については、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

- 車両シートの形状によっては、くぼみなどによりHonda Baby ISOFIXが安定しないことがあります。そのような場合には、Honda Baby ISOFIXの下に固めのクッションや毛布等を敷いて平らにしてください。
- 車両の座席が本革やベロアなど傷つきやすい素材の場合、座席にタオルなどを敷いてからHonda Baby ISOFIXを取り付けてください。
- 車両の外で使用する際は、アジャスターストラップの末端が自動ドアやエスカレーター等に挟まれないように、本体の下部にあるフックに取り付けてください。
- Honda Baby ISOFIXを車両に取り付ける際、車両のドアに挟まれるなどでけがをしないよう、十分注意してください。
- お子さまを乗せているときは、特に慎重な運転を心がけてください。
- 走行中に、お子さまを乗せたHonda Baby ISOFIXを動かしたり、車両３点式シートベルトやHonda Baby ISOFIXのハーネスなどの調節は行わないでください。また、車両への取り付けは駐車時に行ってください。
- Honda Baby ISOFIXは車両の大人の１座席を使用して装着してください。横向きや、２座席にまたがっての装着はできません。
- 長時間走行する場合は、頻繁に休息をとり、お子さまをHonda Baby ISOFIXから出してあげてください。車両の外での使用であっても長時間乗せたままにしないでください。
- Honda Baby ISOFIXを車両から取り外す際、車両のバックルの解除は、必ず車両３点式シートベルトを手で持って取り外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により３点式シートベルトが急に跳ね上がり、お子さまがけがをする場合がありますので十分注意してください。
- お子さまを乗せないでHonda Baby ISOFIXを車両に積んでおく場合にも、必ず固定しておいてください。
- 自宅など車両以外で使用の際も、お子さまは必ずHonda Baby ISOFIXのハーネスで固定してください。また、滑りやすい場所、ひっくり返る可能性のある場所などでは絶対に使用しないでください。

3 こんな車両には取り付けできません

⚠ 警告

- **エアバッグが装備されている助手席**
- **2点式シートベルトの座席**
- **シートベルトの付いていない座席**
- **3点式シートベルトに損傷がある場合**
- **車両の進行方向に対して横向き、または後ろ向きの座席**
- **3点式シートベルトが短く、確実に固定できない座席**
- **3点式シートベルトの腰ベルト側に巻取装置の付いた座席**
- **パッシブシートベルトの付いている座席（前席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着されるシートベルト）**
- **バケットシートなどの凹凸のある座席や、Honda Baby ISOFIXを車両座席に乗せると不安定な座席**
- **3点式シートベルトのバックルが、Honda Baby ISOFIXのベルトガイドに当たり、しっかりと取り付けできない座席**

4 認可、適合性

チャイルドシート	ECE* R44/04に基づく試験と認定	
	グループ	体重
Honda Baby ISOFIX	0+	～13kg

●このチャイルドシートはECE* R44/04に準拠し、設計、テスト、および認証されています。認証の証明のEマークと認証番号はチャイルドシート本体に貼付された認証ラベルに記載されています。

●チャイルドシートに改造を加えた場合は、認証は無効となります。チャイルドシート製造者以外は手を加えることはできません。

*ECE＝安全装置用欧州基準

5 車両での使用方法

⚠ 警告

- **車両のエアバッグが作動しチャイルドシートにぶつかると、お子さまが重大なけが、もしくは死に至る可能性があります。エアバッグが装備された助手席では絶対に使用しないでください。**
  側面にエアバッグがある座席では、車両の取扱説明書の指示に従ってください。
- **装着する車両の取扱説明書のチャイルドシートにかかわる部分を必ずお読みください。**

次の２つの方法で取り付けることができます。

汎用型ISOFIX取付装置（ロアアンカレッジ）を使う

車両シートベルトを使う

5 車両での使用方法

a. 汎用型ISOFIX取付装置を使う場合

重要：
汎用型ISOFIX取付装置を使った取り付けは、ECE* R44/04に従って、ロアアンカレッジを装備したすべての車両で認可されています。車両の取扱説明書で、ISOFIXサイズカテゴリEおよびチャイルドシート体重クラス～ 13kg用に認可されている座席についてご確認ください。

*ECE＝安全装置用欧州基準

後ろ向き	○
座席に固定する： ロアアンカレッジ （座面と背もたれの間）	○

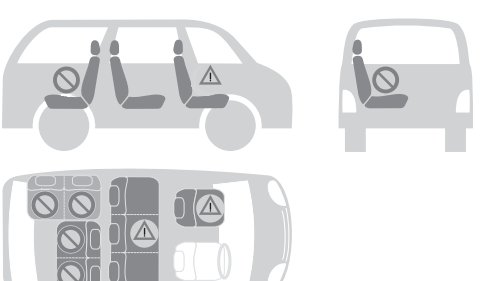
b. 車両シートベルトを使う場合

Honda Baby ISOFIXは次の場合に使用できます。

前向き	×
後ろ向き	○
2点式シートベルト	× 1）
3点式シートベルト	○ 2）
助手席での使用	× 3）
後座席の窓側席	○
後座席の真ん中の席	× 4）

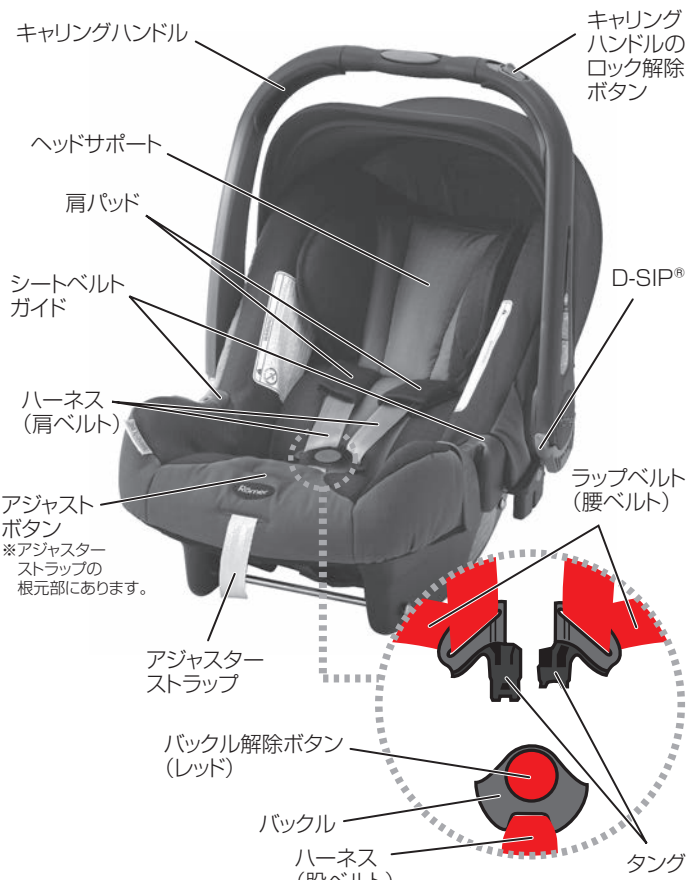
1） 車両の2点式シートベルトでの装着は事故の際のけがのリスクを高めます。使用することはできません。
2） 車両のシートベルトはECE* R16または同等の認証を得たものに限ります。（シートベルトのラベルにEまたはe印があることを確認してください。）
3） エアバッグの装備された助手席では使用できません。その他の場合は車両の取扱説明書をご参照ください。
4） 車両のシートベルトが3点式シートベルトの場合は使用できます。

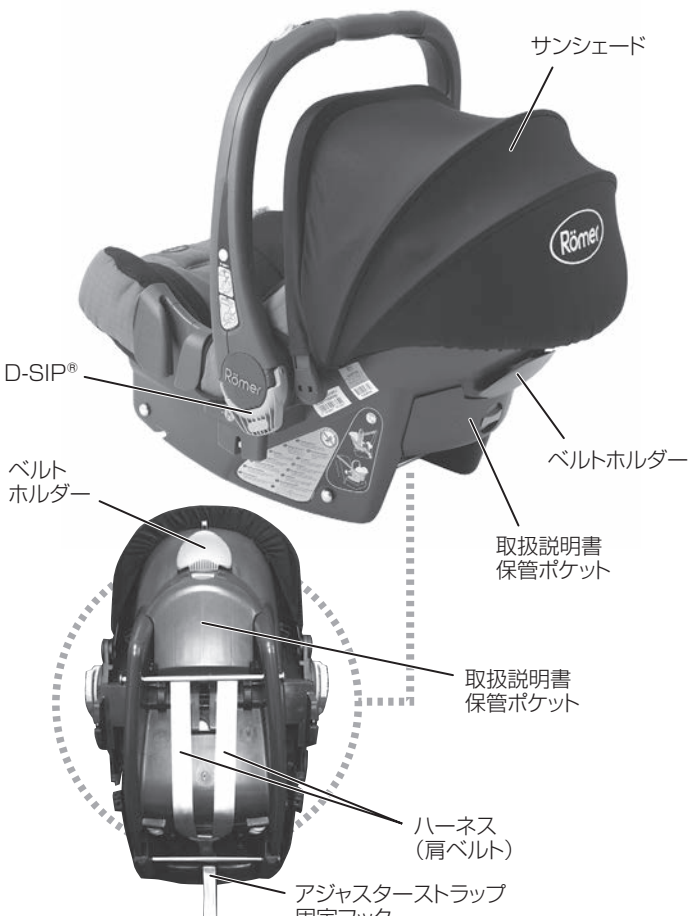
*ECE＝安全装置用欧州基準



6 各部の名称

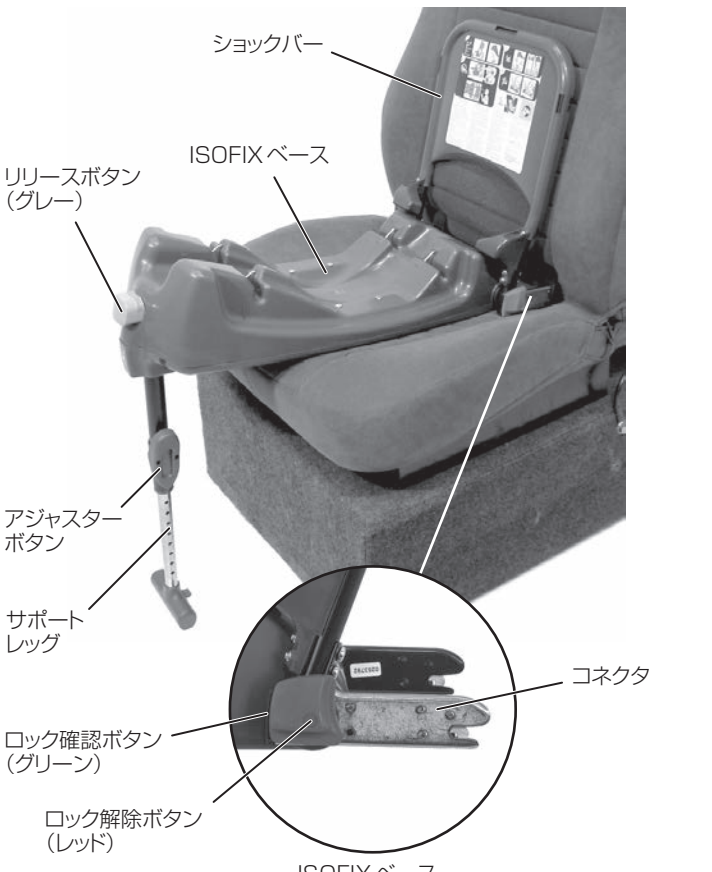
a. ベビーシート

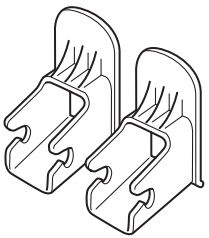



サンシェード
D-SIP®
ベルトホルダー
ベルト
ホルダー
取扱説明書
保管ポケット
取扱説明書
保管ポケット
ハーネス
（肩ベルト）
アジャスターストラップ
固定フック

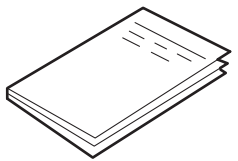
6 各部の名称

b. 同梱品


ショックバー
ISOFIX ベース
リリースボタン
（グレー）
アジャスター
ボタン
サポート
レッグ
コネクタ
ロック確認ボタン
（グリーン）
ロック解除ボタン
（レッド）
ISOFIX ベース



ガイドカップ（2 個）



取扱説明書

7 お子さまの安全

a. キャリングハンドルの調節

Honda Baby ISOFIXは、乗降時にお子さまをHonda Baby ISOFIXから降ろさずに、キャリングハンドルでお子さまを乗せたまま移動できます。キャリングハンドルは、A、B、C、Dの４ヶ所の位置で固定できるようになっています。各所で固定されていることを確認してください。

A：車に装着するとき
　持ち運ぶとき

⚠ 警告

- **Honda Baby ISOFIXを持ち運ぶときは、キャリングハンドルがしっかりとAの位置に固定されていることを確認してください。**

B：セーフティストップ

アドバイス

- この位置にすると、キャリングハンドルが誤って後方に倒れることを防止できます。

C：お子さまを乗せるとき

D：車両以外の床等の場所で
　ベビーシートとして使用するとき

⚠ 注意

- **滑りやすい場所、不安定な場所、ひっくり返る可能性のある場所等では絶対に使用しないでください。**

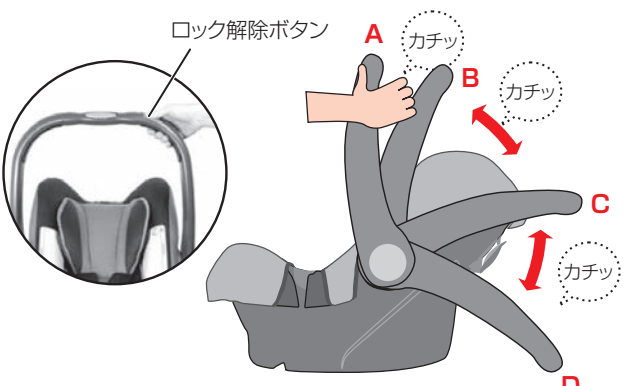
キャリングハンドルの調節方法

1. キャリングハンドルにあるロック解除ボタンを押しながら矢印の方向に動かします。ロック解除ボタンをスライドさせたままにすると、ハンドルを前後に移動できます。

⚠ 注意

- **ロック解除ボタンを操作するときはゆっくりと確実に操作してください。**

2. ロック解除ボタンをはなして、キャリングハンドルを希望の位置に移動します。A・B・C・Dの位置にくると「カチッ」という音とともに、ロック解除ボタンが戻り、キャリングハンドルが固定されます。



⚠ 警告

- **お子さまを乗せ、持ち運ぶ際や車両以外の床等の場所で使用する際もお子さまがHonda Baby ISOFIXのハーネスでしっかりと固定されていることと、キャリングハンドルがロックされていることを再度確認してください。**

7 お子さまの安全

b. ハーネス（肩ベルト）を緩める

ハーネス（肩ベルト）の緩め方

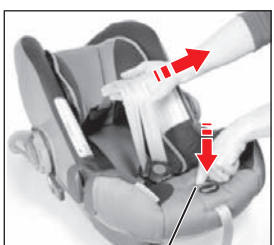
Honda Baby ISOFIXのハーネス（肩ベルト）はアジャスターストラップとアジャストボタンで簡単に調節できます。
Honda Baby ISOFIXのアジャストボタンを押しながら、ハーネス（肩ベルト）を手前に引き出し緩めます。

⚠ 注意

- **肩パッドは引っ張らないでください。**

アドバイス

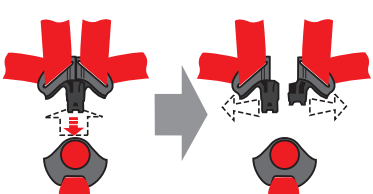
- アジャストボタンは、アジャスターストラップ根元部にあります。



アジャストボタン

タングの取り外し方法

Honda Baby ISOFIXのバックル解除ボタンを押し、タングを外します。タングは左右に分かれます。



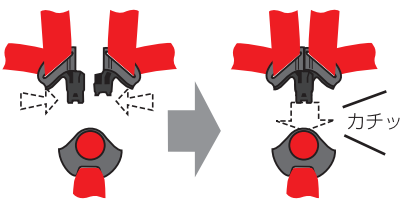
アドバイス

- バックル解除ボタンは誤操作防止のため、若干硬めに設定されています。

c.ハーネス（肩ベルト）を締める

タングの取り付け方法

取り付けは、左右のタングの上下をはめ合わせて一体化させ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



アドバイス
・ タングは片側だけではバックルに差し込むことができません。

⚠ 注意

- **バックルが「カチッ」と音がせず差し込めないときは、バックル解除ボタンを何度か強く押し込んでください。**
  それでも機能しない場合には、ほこりや食べかすなどの汚れにより、正しく機能していない恐れがありますので「9 d.バックルのお手入れ」を参照してください。

ハーネス（肩ベルト）の締め方

Honda Baby ISOFIXのアジャスターストラップを手前に引き、調節します。

⚠ 注意

- **ハーネス（肩ベルト）とお子さまの肩の間に指が1本以上入る隙間があってはいけません。**

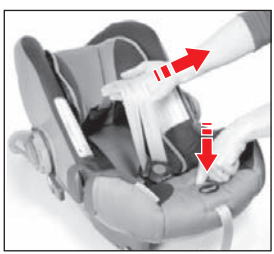
7 お子さまの安全

d. ヘッドサポートの調節

Honda Baby ISOFIXに乗せたお子さまの姿勢が最適な状態になるように、ヘッドサポートを正しく調節してください。
ヘッドサポートを調節する場合、背もたれ部分の角度はお子さまの体に合わせて調節してください。

次の手順で、お子さまに合った高さにヘッドサポートを調節してください。

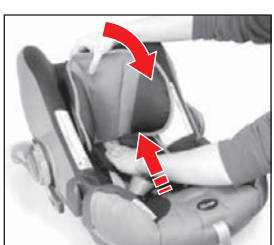
1. Honda Baby ISOFIXのアジャストボタンを押しながら、ハーネス（肩ベルト）を手前に引き出します。



⚠ 注意

- **肩パッドは引っ張らないでください。**

2. ヘッドサポートを手前に傾け、ロックを解除します。
ハーネス（肩ベルト）が適切な高さになるまでヘッドサポートを上下にスライドさせ、お子さまの肩の位置まで移動します。
調節が終わったら手前に傾けていたヘッドサポートを元に戻しロックします。

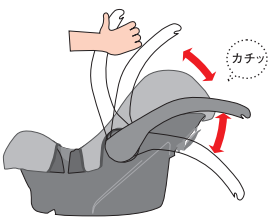


e. お子さまの乗せ方

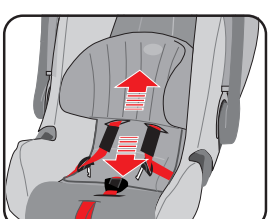
⚠ 警告

- **Honda Baby ISOFIXにお子さまを乗せる際は、必ず駐車時に行ってください。**

1. キャリングハンドルの調節を行ってください。（「7 a. キャリングハンドルの調節」参照）

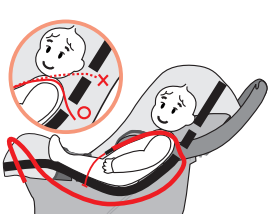


2. 必要に応じてお子さまの体格に合った位置になるようヘッドサポートの高さ調節を行ってください。（「7 d. ヘッドサポートの調節」参照）



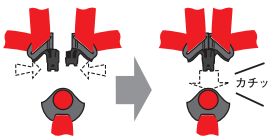
⚠ 警告

- **ハーネス（肩ベルト）は、絶対にお子さまの肩の位置より上のハーネス位置に設定しないでください。事故の際非常に危険です。**



7 お子さまの安全

3. Honda Baby ISOFIXにお子さまをしっかりと座らせ、ハーネス（肩ベルト）を肩の上にかけた後、タングを一体化させバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



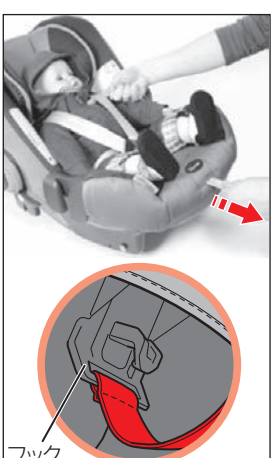
⚠ 警告

- **取り付けの際、Honda Baby ISOFIXのハーネス（肩ベルト）がねじれていないことを確認してください。**

4. ハーネス（肩ベルト）に緩みがなくなるようアジャスターストラップを引っ張り、締めます。

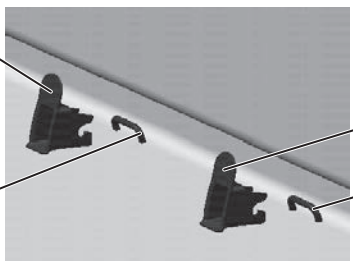
⚠ 注意

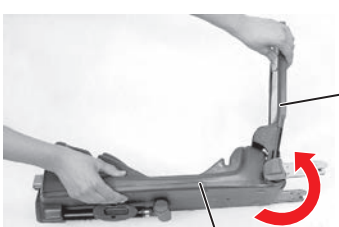
- **ラップベルト（腰ベルト）はお子さまの腰のできるだけ低い位置にくるように調節してください。**
- **アジャスターストラップの末端が自動ドアやエスカレーター等に挟まれないように、本体の下部にあるフックに取り付けてあることを確認してください。**
- **ハーネス（肩ベルト）とお子さまの肩の間に指が１本以上入る隙間があってはいけません。**



8 車両への取り付け／取り外し方法

a.ISOFIXベースを使用して取り付ける





1. ベビーシートのISOFIXベースへの取り付け方法

⇒車両のISOFIXロアアンカレッジの両側にガイドカップを取り付けます。

・ 車両のISOFIXロアアンカレッジは、指定の座席の座面部と背もたれの間にあります。

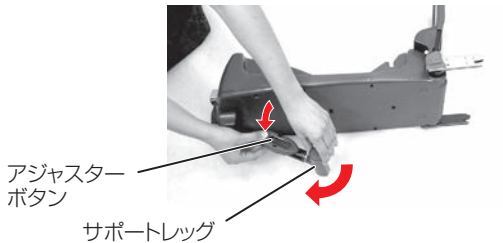
⇒ISOFIXベース本体を押さえて、ショックバーを上方向に起こします。

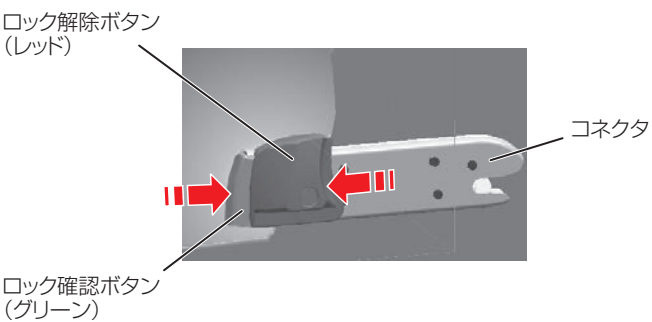
⚠ 注意

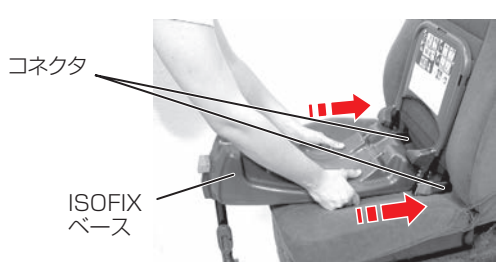
・ ISOFIXベースを持ち運ぶときは必ずショックバーを折りたたみ、押さえてください。手を挟みけがをする可能性があります。

・ ガイドカップはコネクタの車両ISOFIXロアアンカレッジへの取り付けを容易にし、車両シートの破損を防ぎます。使用しない場合は取り外して保管してください。リクライニング機能がある車両では、リクライニングをする際にはガイドカップを取り外してください。多くの機能トラブルはガイドカップとコネクタ先端のホックの汚れが原因です。汚れを取り除くことでトラブルを防止します。

8 車両への取り付け／取り外し方法





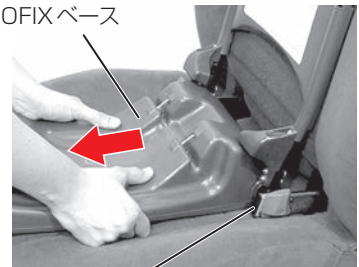


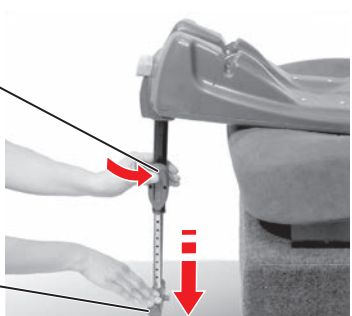
⇒ アジャスターボタンを押して、サポートレッグを開いてください。

⇒ コネクタの両側のロック確認ボタン（グリーン）とロック解除ボタン（レッド）を両手の親指と人差し指で押してください。
コネクタ先端のホックが開いていることを確認してください。

⇒ 両手でISOFIXベースを持ち、両側のコネクタをガイドカップに通して車両のISOFIXロアアンカレッジに取り付けてください。“カチッ”

8 車両への取り付け／取り外し方法





⚠ 警告

- **両側のロック確認ボタン（グリーン）が横から見えるまで出ていることを確認してください。**

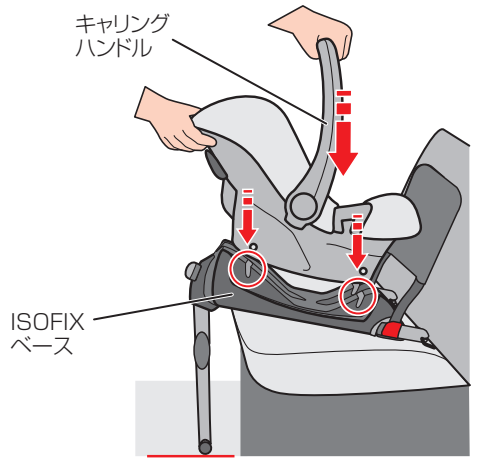
⇒ ISOFIX ベースを引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。

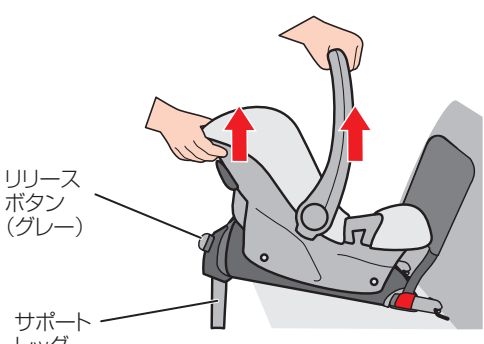
⇒ アジャスターボタンを押して、サポートレッグの先端がしっかりと車両の床部に付くまで伸ばしてロックしてください。

⚠ 警告

- **サポートレッグの先端が宙に浮いていたり、床部でないもので支えたりすることは絶対にしないでください。また、ISOFIX ベースが車両のシートから浮いてしまうまで伸ばさないでください。**

8 車両への取り付け／取り外し方法





⇒ ISOFIXベースの上に何も物がないことを確認してください。

⇒ ベビーシートのキャリングハンドルがA（垂直の位置）にあることを確認してください。

⇒ ベビーシートをISOFIXベースの上に、進行方向後ろ向きに乗せてください。

⇒ ベビーシートの底部の前後２本のバーをISOFIXベースのキャッチに挿入してください。“カチッ”

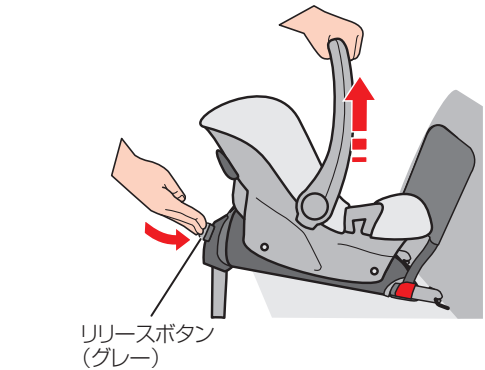
⚠ 警告

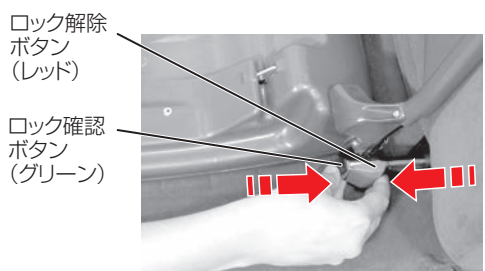
- **リリースボタン（グレー）先端のグリーンの部分が見えていることを確認してください。**
- **サポートレッグは必ず使用してください。サポートレッグが閉じているとベビーシートは、ISOFIXベースに固定できず、取り付けることができません。**

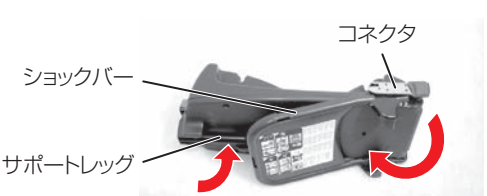
⇒ ベビーシートの本体とキャリングハンドルを持ち、ISOFIXベースにしっかりと固定されていることを確認してください。

⇒ D-SIP® の操作は「8 b-6. D-SHIP® の操作」を参照してください。

8 車両への取り付け／取り外し方法







2. ベビーシートのISOFIXベースからの取り外し方法

⇒リリースボタン（グレー）を押し、ベビーシートを上方向に引き上げ、前後２本のバーをISOFIXベースから取り外してください。（「8 a-1.ISOFIXベースへの取り付け方法」参照）

アドバイス

・ 毎日の使用においては、ISOFIXベースは装着したままにして、ベビーシートのみを着脱して使用することができます。

⇒サポートレッグのアジャスターボタンを押して、サポートレッグを短くしてください。

⇒コネクタの両側のロック確認ボタン（グリーン）とロック解除ボタン（レッド）を両手の親指と人差し指でつまむように押してください。コネクタを車両のISOFIXロアアンカレッジから外してください。

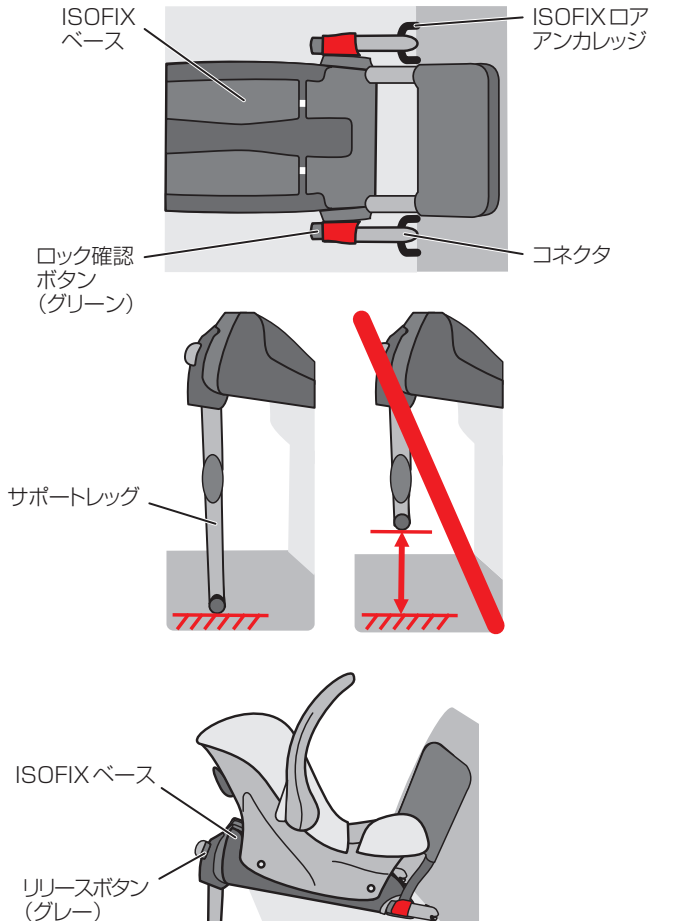
⇒サポートレッグを内側に折りたたみ止めてください。

⇒コネクタとショックバーを下向きにたたんでください。

アドバイス

・ 折りたたむことでコネクタを保護することができます。取り外したときは開いたままにしないでください。

8 車両への取り付け／取り外し方法



3. ベビーシートのISOFIXベースへの正しい装着

⚠ 警告

お子さまの安全のために

- **ISOFIXベースの両側のコネクタがしっかりと両側のISOFIXロアアンカレッジに装着され両側のロック確認ボタン（グリーン）が横から見えていることを確認してください。**
- **サポートレッグが確実に車両の床部に固定され、宙に浮いている状態でないことを確認してください。**
- **ベビーシートがISOFIXベースに確実に装着されていて、リリースボタン（グレー）先端のグリーンの部分が見えていることを確認してください。**
- **ベビーシートは進行方向後ろ向きに装着されていることを確認してください。**
- **ベビーシートを車両の助手席に装着する場合は、エアバッグがないことを確認してください。エアバッグの装備された助手席では絶対に使用しないでください。**

8 車両への取り付け／取り外し方法

b. 車両シートベルトで取り付ける

1. 取り付け方法

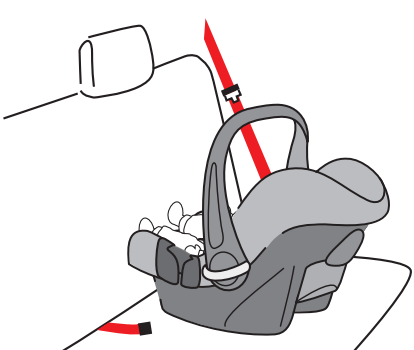
⚠ 警告

- **「3 こんな車両には取り付けできません」を参照してください。必ず車両３点式シートベルトで取り付けてください。**

1. Honda Baby ISOFIXの座面先端部が車両の座席の背もたれに当たるよう、進行方向に対して後ろ向きに設置します。

⚠ 警告

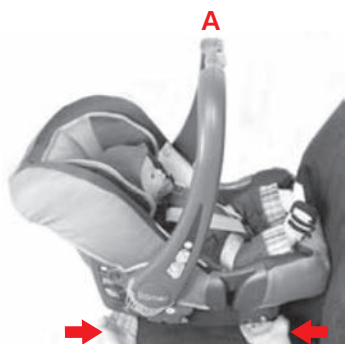
- **エアバッグが装備されている助手席、また車両の進行方向に対して前向きや横向きには取り付けできません。**



2. キャリングハンドルは**A**の位置にし、Honda Baby ISOFIXの背中面の角度が適切になるように調節してください。
   角度が適切な場合
   Honda Baby ISOFIXの底面前後と車両座席の座面との間に指が２本入る程度の隙間ができます。

⚠ 警告

- **車両の座席形状により、適切な角度に調節できない場合には、Honda Baby ISOFIXと車両の隙間に、固めのクッションや毛布などを入れて、調節してください。**

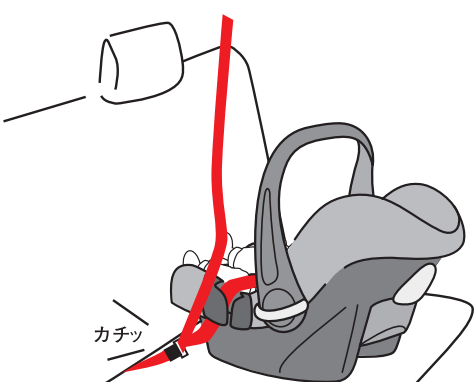


8 車両への取り付け／取り外し方法

3. 車両の３点式シートベルトをHonda Baby ISOFIXの上を通して、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、車両の３点式シートベルトの腰ベルトをHonda Baby ISOFIXの両側のシートベルトガイドに通してください。

⚠ 警告

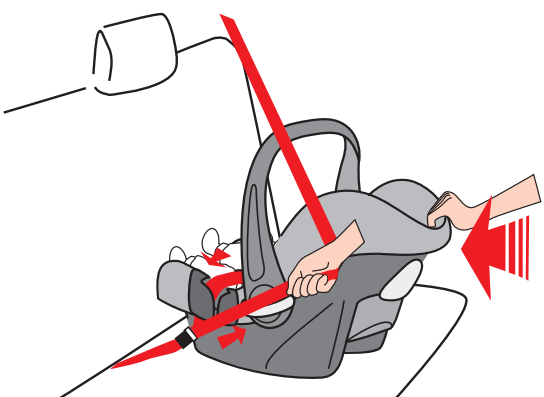
- **シートベルトにねじれやたるみがあると、Honda Baby ISOFIXを正確に取り付けることができません。**
  車両の座席のバックルが、Honda Baby ISOFIXのベルトガイドの中に入ったり、ベルトガイドに覆いかぶさったり、干渉したりしてはいけません。



4. Honda Baby ISOFIXを車両の座席の座面に押しつけながら、車両の３点式シートベルトを引き上げ、腰ベルトのたるみを取ってください。

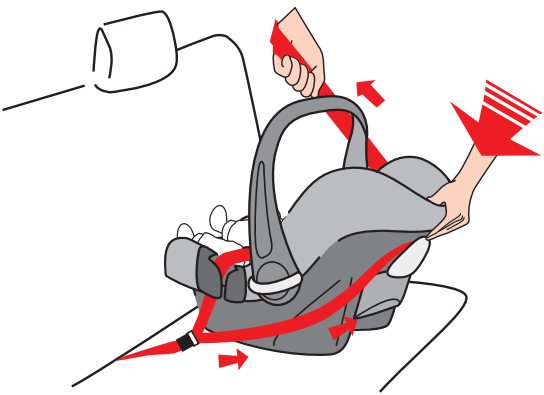
⚠ 警告

- **必要以上に力を加えると、Honda Baby ISOFIXのヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損する恐れがあります。**



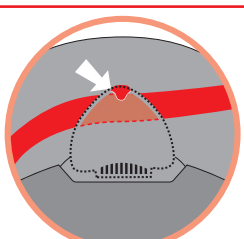
8 車両への取り付け／取り外し方法

5. たるみを取った車両の３点式シートベルトをHonda Baby ISOFIXの背面にまわし、ベルトホルダーに通します。肩ベルトを引き上げ、シートベルト全体のたるみを取り、Honda Baby ISOFIXを車両にしっかり取り付けます。



⚠ 警告

- **ベルトホルダー内のフックに車両の３点式シートベルトがかかっていることを確認してください。**



D-SIP® の操作

D-SIP® とは、側面衝突からの安全性能を高める機能です。

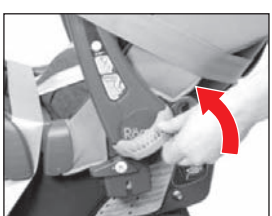
6. D-SIP® を広げておくと、側面からの衝突の際の安全性が高まります。車両のドア側の、D-SIP® をカチッと音がして固定するまで上に持ち上げます。

⚠ 注意

- **ベビーシートを運ぶ場合や取り付ける場合は、D-SIP® を絶対に広げないでください。D-SIP® が破損する恐れがあります。**

アドバイス

- 中央の座席で使用する場合はD-SIP® を広げる必要はありません。



8 車両への取り付け／取り外し方法

7. 車両にしっかりと取り付けできているかを確認するため、Honda Baby ISOFIXを前後に動かし、ぐらつきのないこと、また、Honda Baby ISOFIXの背中面の角度が適切か確認してください。

⚠ 警告

- **車両３点式シートベルトにたるみがある場合、再度、正しい取り付けの確認をしてください。**

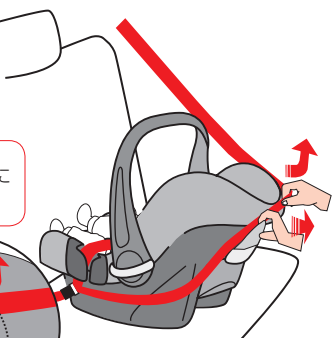
8 車両への取り付け／取り外し方法

2. 取り外し方法

⚠ 注意

- **車両からHonda Baby ISOFIXを取り外す際、お子さまのハーネス（肩ベルト）を取り外したり、緩めたりしないでください。**

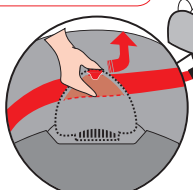
1. キャリングハンドルの根元にあるオレンジ色のD-SIP®ロック解除ボタンを押しながらD-SIP®を下へ折りたたみます。



アドバイス

- これによりD-SIP®が破損しないように保護できます。

2. ベルトホルダーを手前に引きながら、車両3点式シートベルトの肩ベルトをベルトホルダーから取り外します。



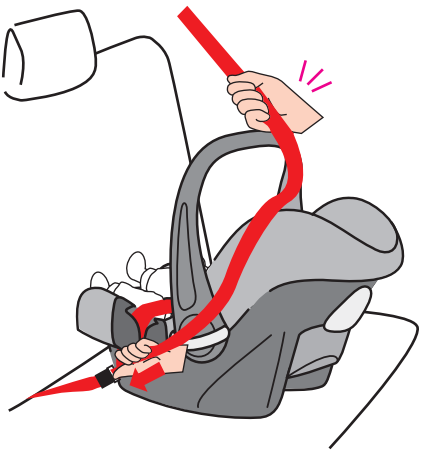
アドバイス

- 車両3点式シートベルトを自動ロック（ALR機能）させた状態では最初にバックルを解除しないでください。

⚠ 注意

- **ベルトホルダーを手前に強く引っ張ったり、折り曲げようとしないでください。ベルトホルダーが破損することがあります。**

3. 車両の３点式シートベルトを持ったまま車両のバックルを解除し、車両のシートベルトタングを外します。

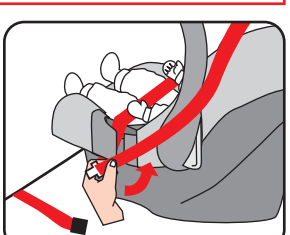


⚠ 注意

- **Honda Baby ISOFIX を車両から取り外す際、車両バックルの解除は、必ず車両３点式シートベルトを持って解除し、取り外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により３点式シートベルトが急に跳ね上がり、お子さまがけがをする場合がありますので十分注意してください。**

4. 車両３点式シートベルトの腰ベルトをシートベルトガイドから取り外します。

5. 車両３点式シートベルトを完全に取り外した後、お子さまを乗せたままHonda Baby ISOFIX を車両から取り外します。



9 お手入れ方法

Honda Baby ISOFIXのシートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パッド、バックル、サンシェードは、簡単に取り外して洗濯や洗浄することができます。

1.シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パッド、バックル、サンシェード

Honda Baby ISOFIXから取り外して、30℃未満のぬるま湯に中性洗剤を入れて、手洗いしてください。

⚠ 注意

- **30℃以上のお湯で洗濯すると、色落ちする可能性があります。**
- **乾燥は、自然乾燥で行い、脱水機や乾燥機、アイロンは絶対に使用しないでください。**

2.シート本体

中性洗剤や薬品類を使用せず、から拭きか水拭きをしてください。

⚠ 警告

- **Honda Baby ISOFIXは、シートカバーなしでは絶対に使用しないでください。**

a. サンシェードの取り外し

Honda Baby ISOFIXは、直射日光からデリケートなお子さまを守るサンシェードが付属されています。このサンシェードは、簡単に開いたり閉じたりすることができます。（ご購入時は、Honda Baby ISOFIX本体に取り付けてあります。）

1. サンシェードのラバーループを本体のキャリングハンドル根元のフック★から外します。

2. サンシェード後方の縫い目部分を本体の上部中央にあるフック★から外し、サンシェードのラバーループをフック★から外します。

3. サンシェード前方のサンシェードフレーム部分を持って、本体の後ろ側下方向へおよそ45度の角度になるよう倒します。

4. サンシェードフレームの根元部分を左右両方とも本体の取り付け部から引き抜き、サンシェードフレームを本体から取り外します。

9 お手入れ方法

b. シートカバーの取り外し

1. ハーネス（肩ベルト）をできるだけ緩めます（「7 b. ハーネス（肩ベルト）を緩める」参照）。

2. バックルにあるバックル解除ボタン（レッド）を押し、タングを外します。

3. ヘッドサポートを一番低い位置までスライドさせます（「7 d. ヘッドサポートの調節」参照）。

4. ヘッドサポートカバーを上部から下方向に引きながら慎重に取り外します。

⚠ 注意

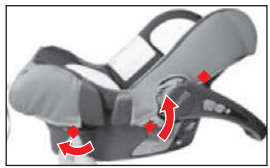
- **ヘッドサポートカバーを外す際、ヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損しないよう注意してください。**

5. 肩パッドを開いて、取り外します。

6. シートカバーの背中部分の裏側左右にあるスナップを外します。

7. スナップを外したシートカバー部分を前方向に折り曲げます。

8. シートカバーの左右にあるプラスチック部分★とラバーループ◆を本体のシートシェルおよびベルトガイド下側にあるフックから外します。



9. バックルとアジャスターストラップをシートカバーから抜きます。

10. シートカバーを上方向に少し持ち上げてから、本体の下部に向かって慎重にシートカバーを取り外します。

⚠ 注意

- **シートカバーを取り外す際、本体および、ヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損しないよう注意してください。**

c. シートカバーの取り付け

「b. シートカバーの取り外し」の逆の手順で行います。

⚠ 注意

- **ハーネスがねじれていないこと、シートカバーのベルト穴にハーネスが正しく挿入されていることを確認してください。**

9 お手入れ方法

d.バックルのお手入れ

Honda Baby ISOFIXのバックルの機能は、お子さまの安全を守るために非常に重要です。バックルの不具合は多くの場合、バックル内に溜まったほこりや汚れによるものです。

不具合の症状

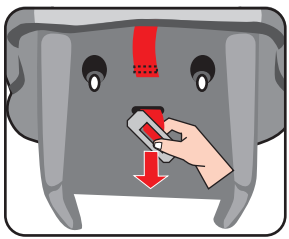
・バックル解除ボタン（レッド）を押してもタングが簡単に外れない。
・バックルにタングを差し込んでもロックできない。（または抜けてしまう）
・バックルにタングを差し込んだときに「カチッ」と音がしない。
・バックルにタングが差し込めない。（何かにつっかえている感じがする）
・かなり力を加えないとバックルが解除できない。

対策

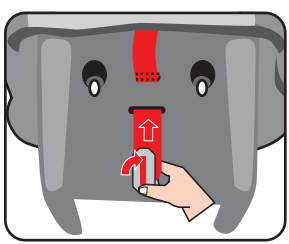
バックルを洗浄することによって、元通りに使用できるようになります。
中性洗剤を入れた30℃未満のぬるま湯に1時間ほどつけた後、よくすすいで、完全に乾かしてください。

バックルの取り外し

1. Honda Baby ISOFIXのバックル解除ボタンを押し、タングを外した後、Honda Baby ISOFIXの裏側にある金属プレートを引っ張ります。

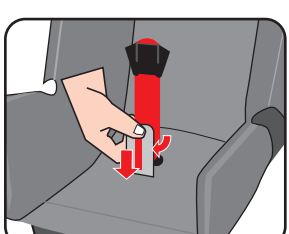


2. 金属プレートを90度回転させ、ハーネス（股ベルト）に沿わせながらベルトスロットに押し込み、表側よりバックルを引き出し、取り外します。



バックルの取り付け

1. 取り付ける際は、金属プレートを90度回転させ、Honda Baby ISOFIXの表側よりバックルを押し込みます。



⚠ 注意

- **バックルが後ろ向きにならないように注意してください。**

⑩ 廃棄方法

お住まいの自治体の廃棄規制に従ってください。

⑪ 次のチャイルドシート

チャイルドシート	ECE* R44/04に基づく試験と認定	
	グループ	体重
Honda Kids ISOFIX	I	9～18kg

*ECE＝安全装置用欧州基準

●商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、（株）ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル
0120-663521（受付時間:9時～12時 13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

不許複製 株式会社ホンダアクセス　08P90-E4R-0000-80